

2019 年度 事業報告

【事業の概況】

(A) 助成公演事業

音楽を志す人々の活動を支援するために、青山音楽記念館 バロックザール を使用し、条件を満たした演奏会を開催される方に、ホール使用料の約 3 分の 2 を助成しています。

【実績】

2019 年度 55 公演 5,461,900 円 (1 公演平均助成額 99,307 円)

参考：昨年度は、55 公演 5,034,800 円 (1 公演平均助成額 91,542 円)

(B) 新人助成公演事業

青山音楽賞新人賞を希望する全ての人の金銭的な負担を軽減し、均等に演奏会開催の機会を持つことができるよう助成を行っています。ホール使用料や付帯設備使用料をはじめ、チラシやプログラムなど印刷費等を一定条件の下、財団が全額負担しています。ただし水、木、金曜日以外の新人賞参加者は新人助成対象になりません。(助成公演事業の対象)

【実績】

2019 年度 6 公演 1,866,295 円 (1 公演の平均助成額 311,049 円)

参考：昨年度は、4 公演 1,328,423 円 (1 公演平均助成額 332,106 円)

(C) 顕彰事業

(1) 青山音楽賞 (新人賞・青山賞・バロックザール賞の三賞の総称)。

財団が運営する青山音楽記念館 バロックザールで、毎年 1 月から 12 月までの期間に開催された公演の中から選考、個人又は団体に授与します。

<新人賞>

演奏会当日 25 歳以下の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2 名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 100 万円、音楽研修費 200 万円及び研修成果披露演奏会の開催費用として係る費用の助成 (上限 50 万円)。

<青山賞>

演奏会当日 26 歳以上の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2 名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 150 万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成 (上限 50 万円)。

<バロックザール賞>

個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会以外の演奏会を対象に財団が選考し、2 組以内の受

賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 200 万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

(2) 審査体制

青山音楽記念館 バロックザールで開催された公演で、音楽賞参加の申し込みのあった公演を対象に、各界より推薦された 27 名（内訳：審査委員 8 名、選考委員 19 名／2019 年度末現在）の審査選考委員が原則として直接来館し、該当する演奏会を聴き、各選考委員が音楽賞候補者を推薦。その結果を基に審査委員会で審議して受賞者を選出し、理事会の承認を経て受賞条件の一つである授賞式の出席を確認した後、受賞者を決定します。

(3) 青山音楽賞授賞式

2020 年 3 月 7 日（土）青山音楽記念館にて開催予定の「2019 年度 第 29 回青山音楽賞授賞式」は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止。

(4) 2019 年度 第 29 回 青山音楽賞 受賞者

<新人賞>本年度は 2 名を選出

今岡秀輝（ヴァイオリン）

受賞公演：2019 年 3 月 7 日（木）『今岡秀輝 ヴァイオリンリサイタル』

佐山裕樹（チェロ）

受賞公演：2019 年 11 月 21 日（木）『佐山裕樹 チェロリサイタル』

<青山賞>本年度は 2 名を選出

豊嶋泰嗣（ヴァイオリン）

受賞公演：2019 年 11 月 9 日（土）『豊嶋泰嗣 バッハプロジェクト WORKS for SOLO VIOLIN』

石上真由子（ヴァイオリン）

受賞公演：2019 年 12 月 22 日（日）『石上真由子 ヴァイオリンリサイタル』

<バロックザール賞>本年度は 2 組を選出

小島 燎（ヴァイオリン）／久末 航（ピアノ）

受賞公演：2019 年 3 月 8 日（金）『小島 燎・久末 航 デュオリサイタル 2019』

Yugen Trio（ピアノ三重奏／西川 鞠子（ヴァイオリン）、ファン・マリア・ラゾ・ヤラス（チェロ）、山本弥香（ピアノ））

受賞公演：2019 年 10 月 12 日（土）『Yugen Trio Recital 日本凱旋公演』

(5) 青山音楽賞 受賞記念演奏会／研修成果披露演奏会

【開催実績】

受賞記念演奏会

- 2019年11月20日(日) 『KOHAN MOZART&BRAHMS』
(クラリネット・2016年度青山音楽賞受賞)
- 2019年11月30日(土) 『辻本玲 チェロリサイタル』
(チェロ・2015年度青山音楽賞受賞)
- 2020年1月12日(日) 『テディ・パパヴラミ 岡田真季デュオリサイタル』
(ヴァイオリン、ピアノ・2017年度バロックザール賞受賞)

研修成果披露演奏会

- 2019年4月7日(日) 『清永あや ヴァイオリンリサイタル』
(ヴァイオリン・2013年度新人賞受賞)
- 2019年9月22日(日) 『周防亮介 ヴァイオリンリサイタル』
(ヴァイオリン・2015年度新人賞受賞)
- 2019年11月10日(日) 『弓新 ヴァイオリンリサイタル』
(ヴァイオリン・2016年度新人賞受賞)
- 2019年12月20日(金) 『上野通明 無伴奏チェロリサイタル』
(チェロ・2016年度新人賞受賞)

(6) 音楽研修

【実施実績】

森田啓佑 (チェロ・2017年度新人賞受賞)

研修内容：ザール音楽大学(ドイツ)への留学。グスタフ・リヴィニウス教授に師事。

研修期間：2019年4月1日～2021年9月30日

黒岩航紀 (ピアノ・2017年度新人賞受賞)

研修内容：ニース国際音楽アカデミーで、ミシェル・ベロフ氏、ヨハン・シュミット氏のレッスン受講。フランス・パリでアンリ・バルダ氏のプライベートレッスンの受講。フランス、ドイツでの国際コンクールへの参加。

研修期間：2019年7月14日～2019年8月14日

松岡井菜 (ヴァイオリン・2018年度新人賞受賞)

研修内容：ウィーン国立音楽大学(オーストリア)への留学。ミヒャエル・フリッセンシュラガー名誉教授に師事。その他、各国際コンクールや音楽講習会への参加。

研修期間：2019年4月1日～2021年3月31日

小林壱成 (ヴァイオリン・2018年度新人賞受賞)

研修内容：ベルリン芸術大学(ドイツ)への留学。ミリヤム・コンツェン教授に師事。アントン・バラコフスキー氏(バイエルン放送交響楽団コンサートマスター)のレッスン受講。

研修期間：2019年10月1日～2020年3月31日

(D) 貸ホール事業

音楽ホールの利用は助成公演が大半を占めますが、助成公演以外に、一般公演、音楽諸団体の発表会やリハーサルでの貸出、またレッスン室は音楽教室としての貸出や個人練習の場所提供等、音楽の裾野を広げ、音楽の発展のための事業も行なっています。なお、音楽目的以外の貸出しは行っておりません。

【稼働実績】

ホール：総稼働日数 89 日 (昨年度は 100 日)

レッスン室：5 部屋の総稼働時間 43.5 時間 (昨年度は 77.5 時間)

2019 年度 ホール使用内訳

種別	利用日数
ホールリハーサル	5
一般公演	2
共催公演	1
新人研修成果披露演奏会	4
主催公演	8
受賞記念演奏会	3
授賞式	0
助成公演	55
奨学生成果披露演奏会	0
新人助成	6
発表会	5
総計	89

(E) 主催公演事業

著名演奏家や将来有望と期待される演奏家の公演を主催し、音楽の普及に務めています。

(a) 主催公演

【実績】

2019 年 5 月 18 日 (土) 『角田祐子 ソプラノリサイタル～菅原幸子を迎えて～』

(チケット料金 一般 3,000 円、学生 1,500 円)

2019 年 6 月 15 日 (土) 『ティボー・ガルシア ギターリサイタル』

(チケット料金 3,500 円)

2019 年 7 月 7 日 (日) 『ケヴィン・ケナー ピアノリサイタル』

(チケット料金 4,000 円)

2019 年 9 月 28 日 (土) 『佐藤俊介 (ヴァイオリン) とオランダバツハ協会管弦楽団』

(チケット料金 5,000 円)

2019 年 10 月 31 日 (木) 『イザベル・ファウスト (ヴァイオリン) & アレクサンドル・

メルニコフ (ピアノ)』 (チケット料金 5,000 円)

2019 年 12 月 8 日 (土) 『クアルテット・エクセルシオ & クアルテット・アルモニコ

～バロックザール賞受賞の弦楽四重奏団による競演～』

(チケット料金 一般 3,500 円、学生 1,500 円)

2020年 1月15日(水) 『エリソ・ヴィルサラーゼ ピアノリサイタル』

(チケット料金 5,000 円)

2020年 2月23日(日) 『ファビオ・ヴィオンディ (指揮、ヴァイオリン) & エウローパ・ガランテ (古楽アンサンブル) ～華麗なるイタリア古楽の世界～』

(チケット料金 5,000 円)

(b) 共催公演

常務理事会の決定により、ホール使用料等の演奏会開催経費を財団が負担する公演。

【実績】

2020年 2月22日(土) 『京都市立京都堀川音楽高等学校 第14回ピアノコンサート』

(共催：京都市立京都堀川音楽高等学校／公益財団法人青山音楽財団)

(F) 育成支援事業

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対する支援を行います。

(a) 奨学金事業

【事業内容】

音楽大学又は音楽学部^に在籍している優秀な大学生(1年生～4年生)に関して、奨学金をもって支援を行います。

【選考方法】

毎年1回、音楽学部のある大学の中から財団の理事会において指定校11大学を決定し、指定校に対して募集要項等を配付して公募を行います。指定校は、学内選考により推薦者を決定し、当該学生の推薦書・願書等を財団へ提出。財団の奨学金規程に基づき、学識経験者を含む当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会が決定。

【指定校】

音楽学部のある国公立大学4校及び私立大学より7校を指定。私立大学については、レベルの保持のために、過去に財団の青山音楽賞の受賞者が関係する大学等により指定。

【支給対象者及び支給額】

支給対象者(人数)…音楽大学又は音楽学部^に在籍している大学生 45名程度／1年

支給額…年間60万円(月額5万円)／1名

【給付方法】

原則として1名に対する支給期間は1年とするが、最長4年まで継続可

【成果発表】

奨学金支給学生は奨学金支給終了時に特別の事情がない限り、財団の指定する時期に、青山音楽記念館 バロックザールで開催する奨学生成果披露演奏会で発表を行います。

【実績】

本年度は、東京藝術大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、愛知

県立芸術大学、京都市立芸術大学、同志社女子大学、大阪音楽大学、相愛大学、沖縄県立芸術大学を指定しました。各大学に奨学生募集要項と応募書類様式を送付し、学内での公募を経て極めて優秀な学生を学内オーディションや教授会等にて選考。2019年4月1日～5月10日までを申請受付期間とし、各大学から奨学生を推薦いただきました。2019年5月21日に当財団の育成支援事業選考委員会における審議を経て、2019年5月31日の理事会にて合計45名の奨学生を決定しました。

(内訳)

- ・東京藝術大学 15名
(声楽3名、ピアノ2名、オルガン1名、弦楽器3名、管楽器3名、邦楽2名、作曲1名)
- ・東京音楽大学 2名 (管楽器1名、作曲1名)
- ・桐朋学園大学 4名 (ピアノ3名、弦楽器1名)
- ・国立音楽大学 1名 (声楽1名)
- ・武蔵野音楽大学 1名 (管楽器1名)
- ・愛知県立芸術大学 4名 (声楽1名、弦楽器2名、管楽器1名)
- ・京都市立芸術大学 9名
(作曲1名、ピアノ1名、弦楽器2名、管楽器2名、声楽2名、音楽学1名)
- ・同志社女子大学 1名 (管楽器1名)
- ・大阪音楽大学 2名 (管楽器1名、声楽1名)
- ・相愛大学 4名 (弦楽器1名、管楽器3名)
- ・沖縄県立芸術大学 2名 (ピアノ1名、管楽器1名)

また、奨学生45名の一年間の成果発表の場として、当財団の主催公演「第7回公益財団法人青山音楽財団 奨学生成果披露演奏会 ～若き音楽家たちによる音の祭典～」を2020年3月14日(土)、3月15日(日)、3月22日(日)に、青山音楽記念館 バロックザールにて入場料無料で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催中止。

(b) 学校等支援事業

【事業内容】

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対し、学生・生徒等がより充実した音楽活動を行いやすい環境をつくるための支援事業を行います。

【選考方法】

毎年1回、チラシ・ホームページ等で、大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対して音楽支援希望を公募。応募団体等に対して財団指定の申請書の提出を求め、当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会にて決定。

【支援内容】

年間総額1千万円以内で、1応募に対して上限300万円の支援を行います。

【報告】

実施事業の報告書を、事業終了後1ヶ月以内に提出いただきます。

【実績】

2019年度第8回学校等支援事業は、2019年4月1日から2020年3月31日に実施される事業を対象に出願期間を2018年11月1日から11月30日とし、チラシ・ホームページ等で公募。2018年12月16日に当財団の育成支援事業選考委員会にて審議し、2019年1月18日の理事会にて下記の12件を決定。

	団体名	支援金支払額 (単位：円)
1	いしかわミュージックアカデミー実行委員会	500,000
2	コンセール・エクラタン福岡	1,000,000
3	鹿児島県立松陽高等学校音楽科	700,000
4	学校法人桐朋学園 桐朋学園大学	1,000,000
5	宮城教育大学交響楽団	1,500,000
6	一般社団法人ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ	500,000
7	国立大学法人京都教育大学	500,000
8	プロジェクトQ実行委員会	1,000,000
9	エリザベト音楽大学	1,500,000
10	公益財団法人仙台市市民文化事業団 ※	0
11	宮城学院女子大学学芸学部音楽科	300,000
12	国立大学法人山梨大学教育学部	1,000,000
	支援金支払 合計額	9,500,000

※公益財団法人仙台市市民文化事業団は支援金50万円で採択されましたが、仙台ジュニアオーケストラ30周年記念2020スプリングコンサートが新型コロナウイルスの影響により開催中止となったため、支払い無し。

2 会議に関する事項

1) 理事会

第 52 回理事会 2019 年 5 月 31 日開催

第 53 回理事会 2019 年 6 月 12 日開催

第 54 回理事会 2019 年 7 月 10 日開催

第 55 回理事会 2019 年 12 月 6 日開催

第 56 回理事会 2019 年 12 月 26 日開催

第 57 回理事会 2020 年 1 月 17 日開催

2) 評議員会

第 22 回評議員会 2019 年 6 月 28 日開催

第 23 回評議員会 2020 年 1 月 10 日開催

<事業報告の附属明細書>

2019 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。